

ロシア 東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2005年（平成17年）7月25日号 No. 1335

目次

● 拡大するロシアのアルコール飲料市場	芳地 隆之 1
● キーパーソン	6
グルジアで財務相、経済発展相が新たに就任／6	
● エトセトラ	6
ロシア東欧貿易会 最新報告書のご案内／6	
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定	7
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	7

拡大するロシアのアルコール飲料市場

はじめに

ロシアの飲み物といえば「ウォッカ」がすぐに思い浮かぶが、市場に様々なアルコール飲料が出回るにつれ、ロシアの消費者の嗜好も多様化している。ビールの伸びが目立つほか、モスクワやサンクトペテルブルグ等の都市部ではカクテルといった低アルコール飲料も好まれている。ロシアではウォッカ・グラスを何度も飲み干して親交を深めるというイメージはステレオタイプになりつつあるようだ。そこで今号では、最近のロシアのアルコール飲料市場について報告する。

1. 消費者の嗜好

全ロシア国民生活水準センターが2004年6月に実施したアンケートの結果によると、「好きなアルコール飲料は？」の質問に対して、回答者の47%がビールと答えた（複数回答あり）。ウォッカ、またはワインと回答した人が各33%。それに続くのはコニャックであるが、6%と少なく、ラム、ジン、ウイスキーは2%に過ぎなかった。それらはロシア人にとってまだ「エキゾチック」な飲み物にとどまっているためというのが同センターの分析である（“RUSSIAN FOOD & DRINKS MARKET MAGAZINE” 2004.No.11）。